

岩手県立大船渡病院

STELLARによって電子カルテ移行に戸惑う医師でも診療スタイルを変えることなく業務を効率化



岩手県立大船渡病院副院長 淵向先生

導入経緯

電子カルテの導入を機にペーパーレス化された医療情報の運用を希望

今回、電子カルテを導入する事で、医療情報も同時に一元化したいと考えました。そのためには、紙の医療情報をどう扱うかが問題でしたが、最終的にはペーパーレス化された運用を希望していました。

そこで色々なメーカーのシステムを見学するために全国行脚しましたが、どれも一長一短でこちらの要望に合う物はなかなかありませんでした。ちょうどその時、岩手県立胆沢病院でSTELLARに出会いました。早速デモンストレーションをしてもらったところ、こちらの要望に応えられる機能を持っているのはこの製品ではないか、という事になり導入を決断しました。

画像・文章・検査結果を統合、時系列表示できる柔軟なシステムSTELLAR

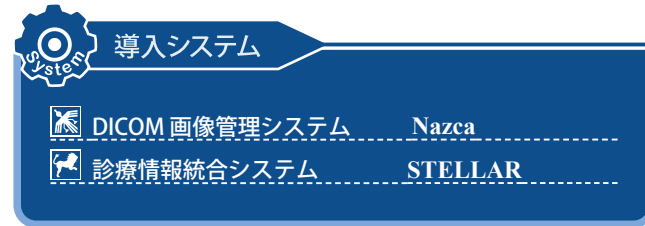
患者様の医療情報が時系列に一覧で閲覧できる。なぜこのような製品が今までなかったのか不思議に思うくらいでした。例えば、画像メーカーの製品の場合、画像関連はよくできているが文書管理が弱く、さらに検査結果は別システムという内容でした。

また、検査メーカーの製品は検査結果の表示に問題はありませんでしたが、その検査結果を文書化して時系列に並べ経過を比較するところまでは至りませんでした。

画像、文書、検査を統合し時系列で並べて一覧にできる。そういう製品はSTELLARしかありませんでした。

診療に使用するシステムは自分が使いやすいシステムを使うことがベストですが、いざ組織となるとそういうわけにもいかず、組織の規格にある程度合わせてもらわなければなりません。そういう意味ではうまく院内に浸透していくかが課題です。

しかし、決して不便になる物ではありませんし、感覚的に使用でき、患者の医療情報が一目で分かるというのは、一度使えば手放せなくなるので、医師やスタッフがよく理解し利用してくれればと思います。



導入効果

STELLARによって統合されたデータにより診療方法を変えずに作業を効率化

患者の診療経過が一目で分かり、電子カルテと連動して、過去の画像や検査がすぐに分かるのはやはり大変良いと思います。

電子カルテでも過去の画像や検査を見る事はできますが、それぞれのシステムを起動する必要があり、深いフォルダ階層からファイルを探し出さなければなりません。しかもシステムが違うので統合して見ることができず、いつ写真を撮って、いつ検査をしたのかわかりにくかったのです。

STELLARでは1つのシステムで画像、文書、検査を見る事ができ、いつ写真を撮って、いつ検査をしたのかが明確に分かりますので、診療する上で大変助かっています。

中には電子カルテ移行で戸惑う先生もいますが、紙を使って診療していた頃のように、紙カルテに画像や検査を一纏めにして、紙カルテをめくれば診療資料が出てくるようなイメージでSTELLARは直感的な画面と操作により、紙カルテでの診療に近く使いやすいと思います。

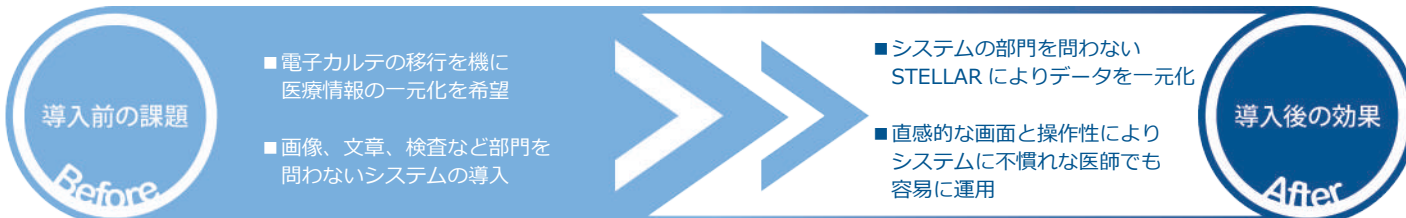
STELLAR 経由の接続でコストの削減にも

部門システムを電子カルテに繋げていくと接続費がかかります。そこで、STELLARを経由し接続する事によって予定より接続費を安く抑える事ができました。

また、メーカー間で接続できない接続には改修が必要といった問題も間に入ってもらう事で接続することができ、接続費用も抑える事ができました。



STELLAR 使用風景



岩手県立大船渡病院：システム導入時期 / Apr 2011



大船渡市は岩手県沿岸南東部で、県内では温暖で、風光明媚なリアス式海岸に位置します。当院は大船渡市・陸前高田市・住田町の二市一町、人口約8万人を擁する気仙医療圏の中核病院です。平成10年8月に開設した救命救急センターを併設し、年間1万1千~1万3千人の救急患者様に対応しています。

地域の皆様の生命と健康を守り、地域の皆様に信頼され、愛される病院を目指して大船渡病院職員が一丸となり頑張っております。

所在地：岩手県大船渡市大船渡町字山馬越 10-1
 病床数：489床
 診療科：内科・消化器科・脳神経外科・血液内科・外科・産婦人科・呼吸器科
 放射線科・耳鼻咽喉科・小児科・精神科・眼科・神経内科・整形外科
 リハビリテーション科・麻酔科・泌尿器科・循環器科・皮膚科・病理科



STELLAR・Nazca 使用風景

今後の期待・要望

紙カルテにQRコードを付けて電子カルテに取り込み管理するという話は聞いていますが、紙カルテから電子カルテに迅速にデータを取り込む運用がまだ見えていません。

救急センター、夜間、年末年始等に誰が紙カルテから電子カルテにデータを取り込むか、また、件数が多いためどのようにすれば滞りなく送れるか、今後これらの運用を含めた対応をぜひお願いしたいと考えています。

システム構成図

